

## 平成 25 年度 博学連携事業

### 博学連携講座 『博物学・理学から眺めた虫たちの不思議 昆虫「超」能力』

開催日：平成 25 年 11 月 2 日～12 月 21 日 全 4 回

開催場所：大阪市立大学文化交流センター（大阪駅前第 2 ビル 6 階）

のべ受講者：163 名

長距離を移動するチョウ類の生態

－アサギマダラ・オオカバマダラ－

大阪市立自然史博物館 学芸課長代理 金沢 至

体内時計を使って時刻・方角・季節を読む虫

理学研究科 教授 志賀 向子

寄生バチによる寄主操作

大阪市立自然史博物館 学芸員 松本 吏樹郎

ハチ毒：その化学的・生物学的多様性

理学研究科 教授 品田 哲郎

#### ■感想■

かくも多くの昆虫が移動することに改めて感心をする次第です。ありがとうございました。

### シンポジウム「難波宮と大化改新」

開催日：平成 26 年 2 月 23 日

開催場所：大阪歴史博物館 4 階講堂

受講者：220 名

故 山根徳太郎が大阪市立大学を退官後に始めた難波宮発掘が、平成 26 年 2 月で 60 周年を迎えることを記念し、60 年にわたる発掘調査で明らかになった難波宮跡と、大化改新論の今日をテーマに議論した。



大化改新と孝徳朝

磐下 徹 文学研究科講師

大化の薄葬令と古墳の終末

岸本直文 文学研究科准教授

大化改新と宮殿建築の新しいカタチ

李 陽浩 大阪歴史博物館学芸員

周辺部の発掘成果からみた前期難波宮

高橋 工 大阪文化財研究所調査課長兼難波宮調査事務所長

### 連続講座「大阪城の地中を探る」

開催日：平成 26 年 3 月 8 日・9 日

開催場所：大阪歴史博物館 4 階講堂

受講者：225 名

大阪城の地下には、いく層にも積み重なった歴史が眠っています。本講演会では、そうした歴史のうち、今年注目を集めている豊臣期大坂城石垣を中心に、徳川期大坂城や、豊臣期以前の地下構造などを明らかにしました。

## 古文書講座「新発見道頓堀関係古文書を読む」

開催場所：大阪歴史博物館 4階講堂

第1回	平成25年11月16日(土)	八木 滋	大阪歴史博物館	学芸員
第2回	平成25年11月23日(土・祝)	西本菜穂子	大阪市立歴史博物館	学芸員
第3回	平成25年11月30日(土)	塚田 孝	大阪市立大学教授	

## シンポジウム「道頓堀の開発と芸能」

開催日：平成25年12月1日(日) 午後1時～午後4時30分

開催場所：大阪歴史博物館

近世道頓堀の社会＝空間構造	神田由築氏	お茶の水女子大学准教授
新安井家文書発見の意義	塚田 孝	大阪市立大学教授
道頓堀の開発と芝居地	八木 滋	大阪市立歴史博物館学芸員 ほか

## ミュージアム連続講座2013 「旅」

開催日：平成26年2月21日(金)

ミュージアム連続講座2013「旅」	中村 健吾	経済学研究科教授
-------------------	-------	----------